

# 糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点（J-GlycoNet） 2025年度 共同研究課題公募要項

糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点（以下「J-GlycoNet」という。）は、文部科学省の共同利用・共同研究拠点制度により認定された、東海国立大学機構名古屋大学・岐阜大学 糖鎖生命コア研究所、創価大学 糖鎖生命システム融合研究所及び自然科学研究機構 生命創成探究センター（以下「研究所等」という。）からなる、「糖鎖」に関わる生命科学研究を支援するネットワーク型拠点です。J-GlycoNetでは、①異分野融合研究の促進、②各コミュニティとの頭脳循環促進による人材育成、③日本の糖鎖科学の専門家であるコラボレイティブフェローを軸としたオールジャパン体制の構築、を行います。

## 1. はじめに

動物や植物、微生物にも、その命を支える3つの分子の鎖としてゲノム（核酸）・タンパク質・糖鎖があります。しかしながら糖鎖はゲノム・タンパク質に比べて圧倒的に情報量が少なく、多くの生命科学研究分野の研究者にとってはこの「糖鎖の壁」を避けて通らざるを得ない状況が続きました。その糖鎖の壁の扉を開けて、異分野融合研究を推進し新しい生命科学を拓くことがJ-GlycoNetのビジョンです。オールジャパン体制の糖鎖拠点ネットワークを活かし、「糖鎖」という研究分野と異分野との融合研究を通じて生命科学を発展させることを目的とし、以下のとおり共同研究課題を公募します。また、J-GlycoNetでは、糖鎖科学以外の異分野研究者、若手研究者及び女性研究者の参画や、海外研究者との国際共同研究を積極的に支援しています。

## 2. 公募課題

### 1) 一般共同研究 【支給金額：上限20万円】

新しい糖鎖融合研究領域の萌芽となる、自由な発想とアプローチによるボトムアップ（提案）型の共同研究です。糖鎖が関わる幅広い研究テーマを公募し、生命科学及び周辺分野を中心に多様な研究を支援します。

### 2) 課題設定（ネットワーク連携）共同研究 【支給金額：上限50万円】

J-GlycoNetが提示する研究テーマ（以下参照）について、申請者（研究代表者）がJ-GlycoNetを構成する2機関以上の研究者と合同の研究チームとなって実施する課題設定型の共同研究です。多角的な視点を経て糖鎖研究から多様な生命科学を開拓し、人材交流の促進、独創的な研究への発展を目指します。

\* 本課題は2カ所以上の受入機関を横断する研究チームとなりますので、主となる受入機関を決めてください。

【研究テーマ】 ※以下から1テーマを選択

- ① 糖鎖が関与する疾患の分子機構の研究
- ② 糖鎖の生物学的機能の基礎研究
- ③ 多様な糖鎖関連分子に関する研究
- ④ 糖鎖構造解析のための新技術開発
- ⑤ 情報科学を用いた糖鎖解析リソースの開発

### 3) コラボレイティブフェロー (CF) 申請型 【支給金額：上限30万円】

様々な分野の研究者、CF 及び J-GlycoNet の受入機関に所属する研究者の3者が連携して行う異分野融合型研究です。CF 及び J-GlycoNet が持つ様々な糖鎖技術・ノウハウ・設備・人脈をつなげて協同することで、新しい生命科学の創出を目指します。

\* CF (<https://j-glyconet.jp/cf/>) が申請者になり、異分野の研究者とチームを組み、J-GlycoNet の受入研究者を設定して申請してください。

### 4) ヒト糖鎖情報解読共同研究 【支給金額：上限50万円】

ヒューマングライコームプロジェクト (HGA) と関係した基礎的または応用的融合研究を推進します。

\* 文部科学省大規模学術フロンティア促進事業 ([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kyoten/1383666.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kyoten/1383666.htm))

\* ヒューマングライコームプロジェクト (<https://human-glycome-atlas.org/>)

\* 受入研究者と事前に提案が本課題の趣旨に合うかをご相談ください。

## 3. 国際化への取り組み

研究計画に海外からの J-GlycoNet 関連施設への訪日実験が含まれる場合については、上記支給金額に加えて海外渡航に係る旅費を追加で支援します。(1件あたり上限20万円)

\* 計画段階で実際の渡航者・渡航計画を検討したうえで申請してください。計画した渡航が実施されない場合、本措置については原則返還となります。

## 4. 受入研究者

J-GlycoNet を構成する研究所等が共同研究の受入機関となりますので、研究所等の中から J-GlycoNet の受入研究者を1名お選びください。

<https://j-glyconet.jp/about/member/>から、研究所等に所属する研究者へのページに行くことができます。各研究者の研究テーマ等を掲載していますので、共同研究者・研究所等の選定に活用ください。

申請にあたって、申請者は希望する J-GlycoNet の受入研究者または糖鎖研究推進室 (<https://j-glyconet.jp/consult/>) と研究課題の目的や計画について十分な打ち合わせを行ってください。申請内容によっては、より適切な研究所等・受入研究者へ調整させていただくことがあります。

## 【受入機関・研究所等】

- 東海国立大学機構名古屋大学・岐阜大学 糖鎖生命コア研究所 (iGCORE) :

<https://igcore.thers.ac.jp/member/>

- 創価大学 糖鎖生命システム融合研究所 (GaLSIC) :

<https://www.soka.ac.jp/glycan/>

- 自然科学研究機構 生命創成探究センター (ExCELLS) :

<https://www.excells.orion.ac.jp/research-groups#1-1>

## 5. 研究費の用途

共同研究の実施に必要な旅費及び消耗品費等に使用できます。

研究費は申請者に直接支給されません。採択後、受入機関の事務より研究費について連絡しますので、案内に従って適切にご使用ください。

## 6. 応募資格

国公立大学、公的研究機関に所属する教員・研究員またはこれに相当する方。

## 7. 研究期間

2025年4月1日 ~ 2026年3月31日 (予定)

## 8. 応募方法及び申込期間

- 1) 申請にあたっては、必ず J-GlycoNet のワンストップ窓口 ([https://j-glyconet.jp/consult/consult\\_contact/](https://j-glyconet.jp/consult/consult_contact/)) にお問い合わせいただくか、または J-GlycoNet の研究者とあらかじめ打合せを行い、受入研究者を決めてください。
- 2) 申請書等の各様式は、J-GlycoNet のホームページ (<https://j-glyconet.jp/research/koubo/>) からダウンロードしてください。
- 3) 申請者は所属機関の長の承諾を受けて、J-GlycoNet のホームページ内「共同研究公募 申請フォーム」から応募してください。  
\* 応募方法や応募についてのご質問は、下記17の連絡先までご連絡ください。
- 4) 申請書のファイル名は〔所属・代表者名〕の PDF ファイル (5 MB まで) にしてご提出ください。

**申込期限：2025年2月10日 (月)**

## 9. 選考

選考結果は拠点において審議・決定後、2025年4月 (予定) までに申請者へお知らせします。

\* 採択された課題は、J-GlycoNet のホームページに所属、名前ともに掲載されます。

## 10. 本研究による成果の発表

本研究による成果を発表する場合には、必ず採用通知に記載された課題番号を記入し、「糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点（J-GlycoNet）における共同研究」と明記してください。

本研究から派生して得られた成果を発表される場合も、糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点（J-GlycoNet）による支援を受けた旨、謝辞にご記載ください。

（英文例）

-This work was supported by the joint research program of the J-GlycoNet cooperative network, which is accredited by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, MEXT, Japan, as a Joint Usage/Research Center.

## 11. 研究発表会

採択者は J-GlycoNet が開催する研究発表会（2025年9月24, 25日開催の Glyco-Core Symposium 内予定）に参加していただきます。詳細については別途ご案内します。

## 12. 研究成果報告書

研究期間終了後1ヶ月以内に共同研究報告書を提出してください。報告書は、「糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点（J-GlycoNet）」の成果として J-GlycoNet のホームページ等で公表します。

## 13. 知的財産権の取扱い

知的財産の取扱いは、原則として J-GlycoNet における各研究所等の知的財産に関する取扱基準に準じます。

## 14. 安全保障輸出管理

海外へ研究機器、資料、技術指導等の提供や、海外研究者と共同研究を実施するにあたり、受入研究者の所属機関の関連規則に基づく手続きが必要となる場合があります。

## 15. 男女共同参画の推進

共同利用・共同研究の立案・実施にあたり、ご配慮をお願いします。

## 16. 個人情報

公募により提供された個人情報は本事業にのみ利用し、本事業に関係のない目的には使用しません。

## 17. 問い合わせ先

（代表）糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点（J-GlycoNet）

糖鎖研究推進室（担当：郷）

Eメール：j-glyconet@igcore.nagoya-u.ac.jp